

# ハイパーティション

## LIXIL 桁連結金具セット(傾斜用) 柱桁連結金具セット(側面用) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 取付けに際しては、<C216>ハイパーティション、<C269>ハイパーティション(イペセレクト)の各取付説明書を合わせてお読みください。

### ■桁連結金具セット(傾斜用)のご注意

- 垂木掛け部材は、床板セットを使用してください。
- 取付け可能な最大出幅は、桁の傾斜角度によって異なります。
- 対応可能な傾斜角度は、出幅方向にパネルを取付けない場合0°~15°です。これより大きな角度では、桁の取付けはできません。
- 出幅方向に基本パネルを取付ける場合の傾斜角度は、1スパン仕様で最大8°、2スパン仕様で最大4°になります。

### ■柱桁連結金具セット(側面用)のご注意

- 出幅方向に基本パネルを1スパンまたは、2スパン取付ける場合に使用してください。
- 柱芯々寸法1200(規格)での傾斜角度は、柱が1本入る場合は最大8°、2本入る場合は最大4°です。これより大きな傾斜角度では、柱の長さが足りないため連結はできません。

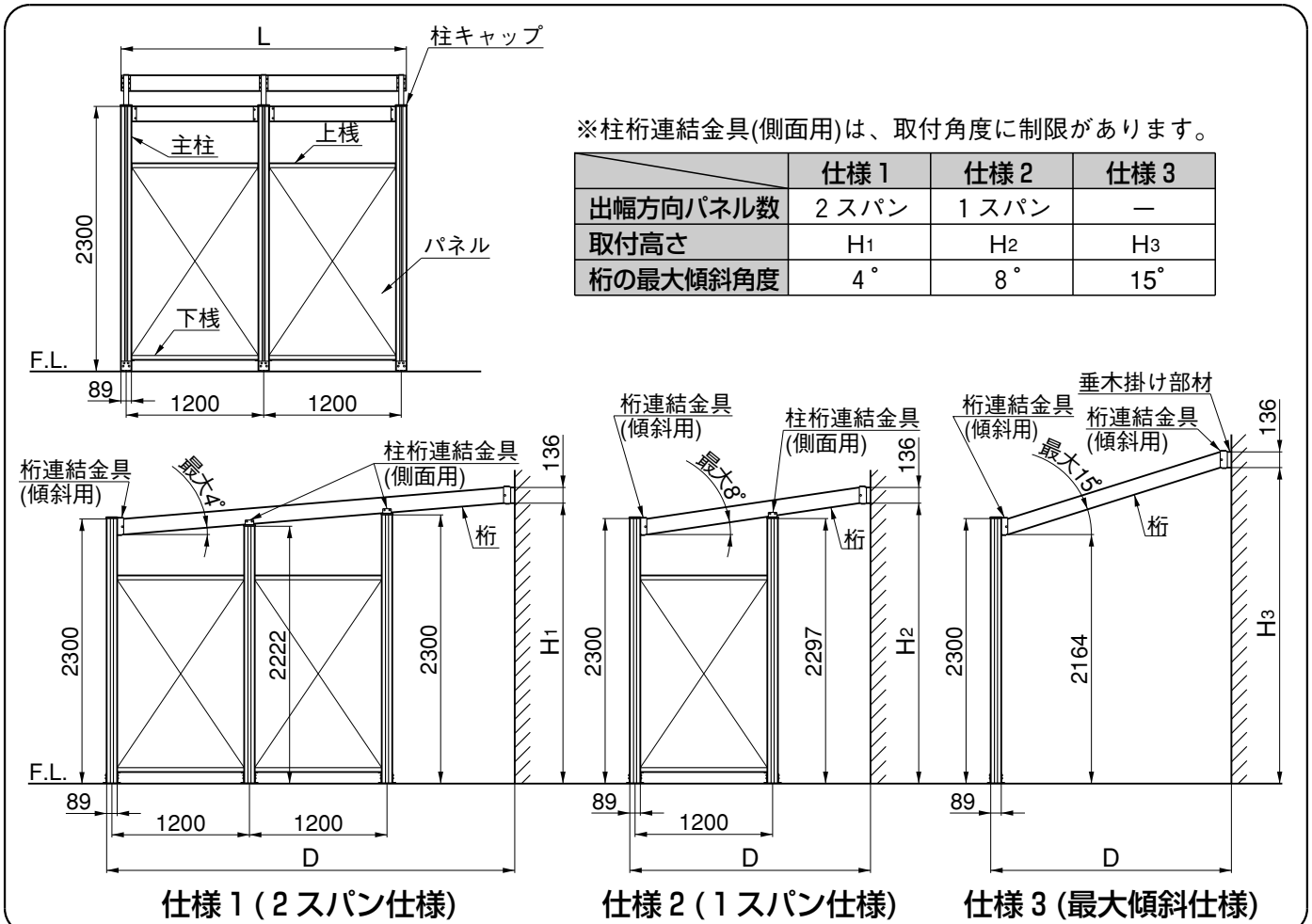
## ■梱包明細書

### ①桁連結金具セット(傾斜用)

名 称	員 数
桁連結金具(傾斜用)	2
桁連結金具固定ネジ φ4×20ナベ特殊	8
桁固定ボルト M6×45六角ボルト	2
桁固定ナット M6袋ナット	2
桁固定座金 M6平座金	4
垂木掛け部材固定ネジ φ4.5×63サラ木ネジ	2

名 称	員 数
垂木掛け部材固定アンカー フィッシャープラグS6	2
取付説明書	1
②柱桁連結金具セット(側面用)	
名 称	員 数
柱桁連結金具(側面用)	1
桁固定ネジ φ4×20ナベ特殊	2

## 1.基本寸法図

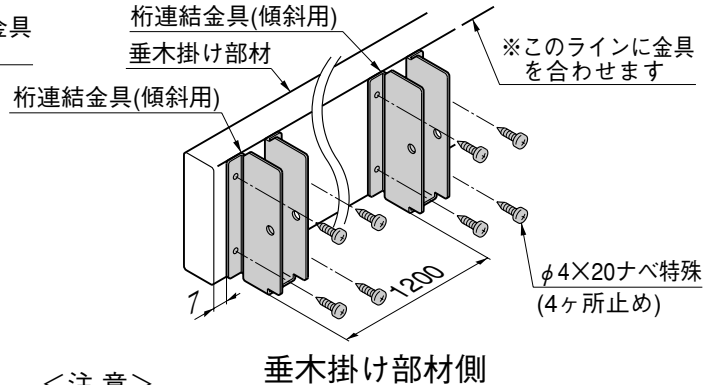
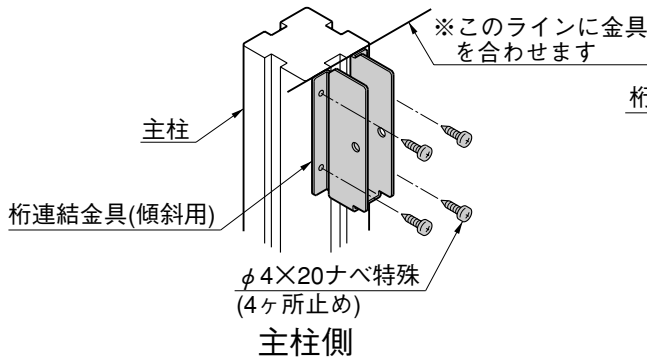


## 2.垂木掛け部材の加工

パネルスパン数	1	2	3	4	5
切断寸法(L)	1289	2489	3689	4889	6089

① ハイパーパーティションの柱の外寸法(L)で、垂木掛け部材を切断してください。(「1.基本寸法図」参照)

## 3.桁連結金具(傾斜用)の取付け

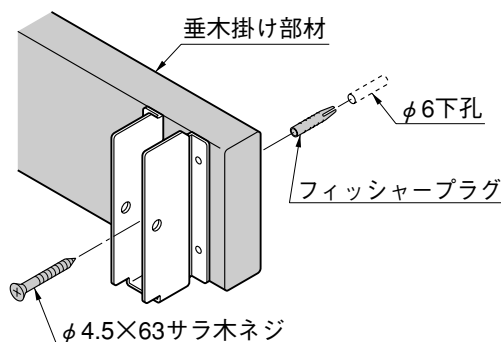
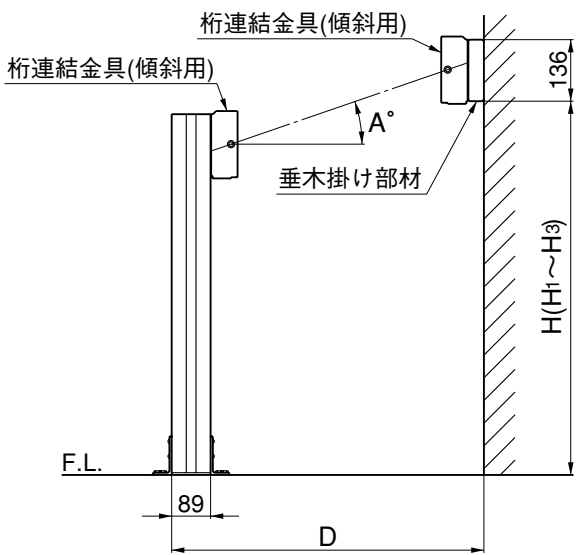


- 主柱の中心に合わせて金具を取付けてください。
- 金具を柱ピッチに合わせて、垂木掛け部材に取付けてください。

<注意>

- 「イベセレクト」の場合は、φ4ネジを打込む際は必ずφ3の下孔をあけてください。

## 4.垂木掛け部材の取付け



● 表を使って「垂木掛け部材」取付高さ(H1~H3)を求める方法

- 仕様を決めてください。(「1.基本寸法図」参照)
- 下表にしたがって、取付高さを決めてください。

<注意>

- 表中の取付高さ以下で、「垂木掛け部材」を躯体に取付けてください。

出幅D	仕様1(2スパン仕様) 4°傾斜		仕様2(2スパン仕様) 8°傾斜		仕様3(2スパン仕様) 15°傾斜	
	取付高さH <sub>1</sub> 使用する桁	取付高さH <sub>2</sub> 使用する桁	取付高さH <sub>2</sub> 使用する桁	取付高さH <sub>2</sub> 使用する桁	取付高さH <sub>3</sub> 使用する桁	取付高さH <sub>3</sub> 使用する桁
1000	—	—	—	—	2374	桁1
1100	—	—	—	—	2401	
1200	—	—	—	—	2428	
1300	—	—	2316	—	2455	桁2
1400	—	—	2331	—	2482	
1500	—	—	2345	—	2508	
1600	—	—	2359	—	2535	
1700	—	—	2373	—	2562	
1800	—	—	2387	—	2589	
1900	—	—	2401	—	2615	
2000	—	—	2415	—	2642	
2100	—	—	2429	—	2669	
2200	—	—	2443	—	2696	
2300	—	—	2457	—	2723	
2400	—	—	2471	—	2749	
2500	2324	—	2485	—	2776	桁3
2600	2331	—	2499	—	2803	
2700	2338	—	2513	—	2830	
2800	2345	—	2527	—	2857	
2900	2352	—	2541	—	2883	
3000	2359	—	2555	—	2910	
3100	2366	—	2569	—	2937	
3200	2373	—	2584	—	2964	
3300	2380	—	2598	—	2991	
3400	2387	—	2612	—	3017	
3500	2394	—	2626	—	3044	
3600	2401	—	2640	—	3071	

## ●計算式によって「垂木掛け部材」取付高さ(H<sub>1</sub>~H<sub>3</sub>)を求める方法

<注意>

- 表を使わずに、取付角度からH(H<sub>1</sub>~H<sub>3</sub>)寸法を算出する方法です。
- ① 柱外から躯体まで(D寸法)を採寸してください。
- ② 取付ける角度によって、垂木掛け部材取付高さ(H寸法)が変わりますので、取付角度(A°)を決めてください。
- ③ 次の計算式より垂木掛け部材取付高さ(H寸法)を算出してください。

$$H = (D - 215) \times B + 2164 \quad [\text{mm}]$$

取付角度A	B	取付角度A	B	取付角度A	B
1	0.02	6	0.11	11	0.19
2	0.03	7	0.12	12	0.21
3	0.05	8	0.14	13	0.23
4	0.07	9	0.16	14	0.25
5	0.09	10	0.18	15	0.27

※Bは角度により決まる数です。

- 垂木掛け部材取付高さ(H寸法)の算出例

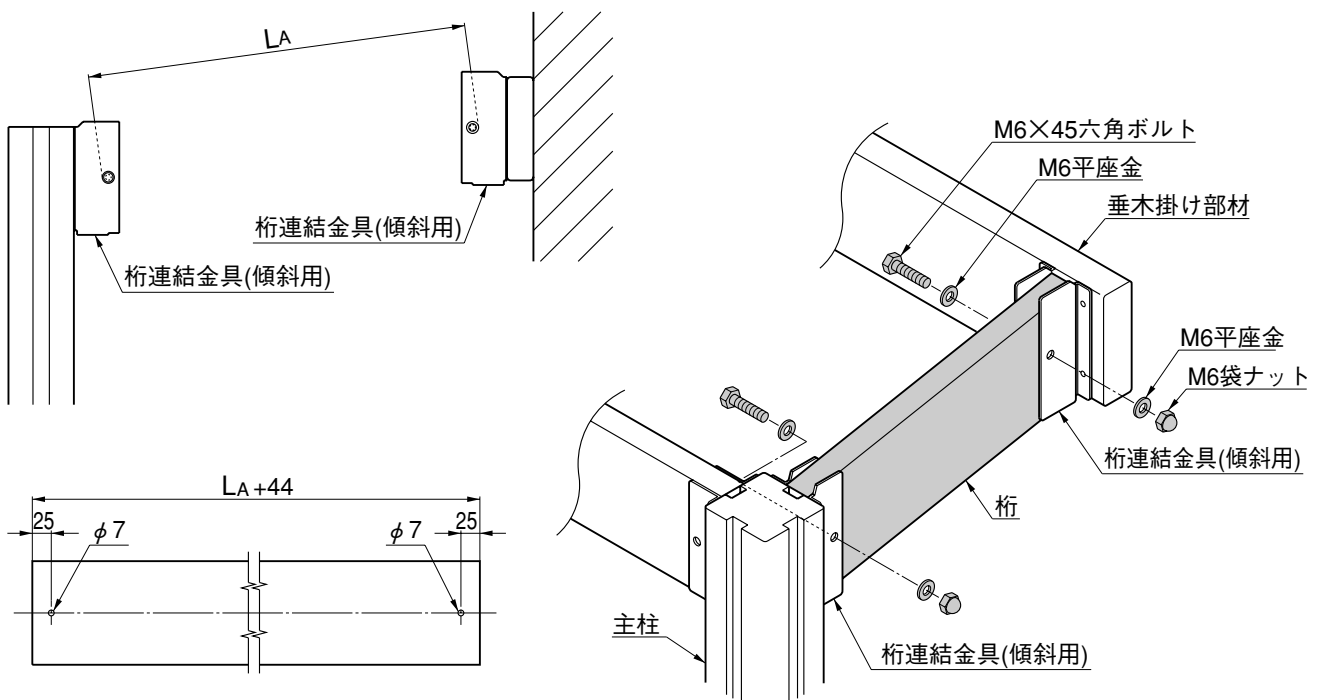
(例) D寸法を2100mm、角度A°を5°にした場合

$$\begin{aligned} H &= (D - 215) \times B + 2164 \\ &= (2100 - 215) \times 0.09 + 2164 \\ &= 2333.65 \end{aligned}$$

以上より、H寸法は約2334mmになります。

- ④ 算出したH寸法にしたがって、垂木掛け部材を固定してください。

## 5.桁の加工・取付け

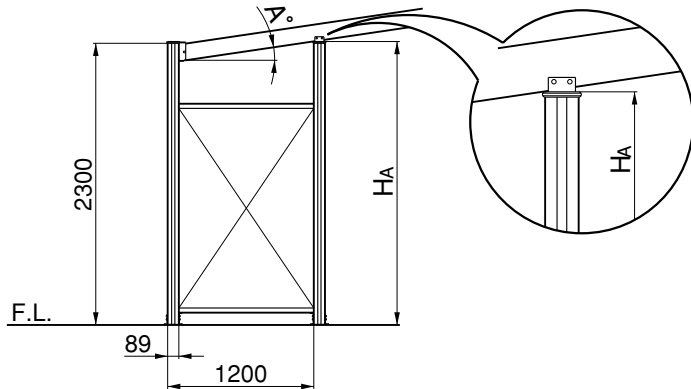


- ① 桁連結金具(傾斜用)にボルトを差込んでください。
- ② 差込んだボルトの外々寸法(LA)を採寸してください。
- ③ 桁を「外々寸法(LA)+44mm」で切断してください。
- ④ 桁の両端にφ7の孔加工をしてください。
- ⑤ 桁を指定のボルト、ナットで固定してください。

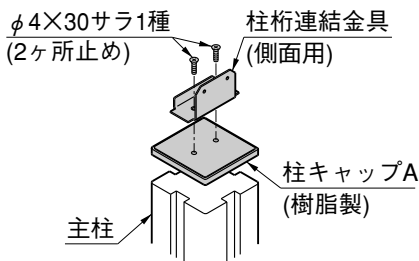
<注意>

- ボルトの外々寸法(LA)を採寸する際は、柱の垂直を出してからにしてください。

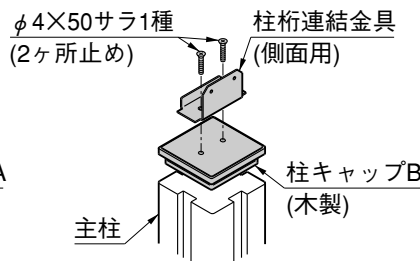
## 6.柱桁連結金具(側面用)の取付け



- ① 柱キャップ上端(左図の位置)からF.L.までの寸法(HA)を採寸してください。



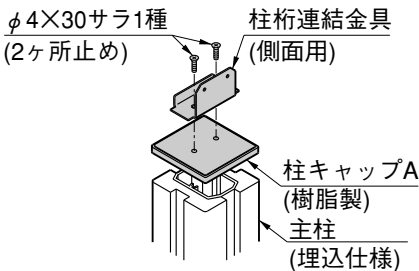
ベース仕様／柱キャップA



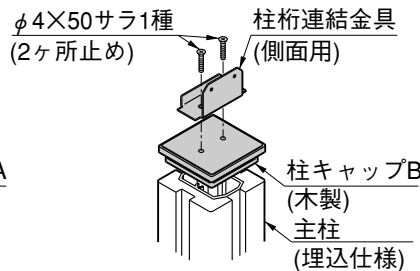
ベース仕様／柱キャップB

- ② 柱を下表にしたがって、柱上部より切断してください。

仕様	使用キャップ	柱切断寸法
ベース仕様	柱キャップA	2320-HA
	柱キャップB	2340-HA
埋込仕様	柱キャップA	2316-HA
	柱キャップB	2336-HA

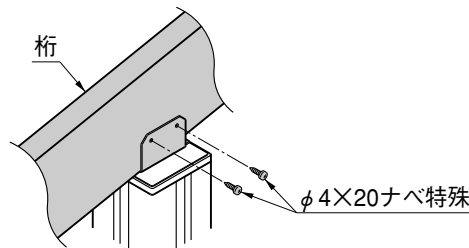


埋込仕様／柱キャップA



埋込仕様／柱キャップB

- ③ 柱桁連結金具(側面用)を柱キャップに取付けてください。



- ④ パネルを組付けた後、柱桁連結金具(側面用)と桁を固定してください。

<注意>

- 「イペセレクト」の場合は、φ4ネジを打込む際は、必ずφ3の下孔をあけてください。

### 施主様、施工店様へ

- 木は自然素材ですので、野外環境下において使用にさしつかえない範囲でのソリ、曲がり、割れ等が発生する場合があります。
- 木材の腐食や変形の原因となりますので、木材表面に故意にキズをつけないように注意してください。
- 木材保護着色塗料を塗装してある木材製品は、ご使用と共に色が落ちてきますので、1年を毎日に再塗装をしてください。  
お手入れの状況(回数、丁寧さ等)で耐用年数に差が出てきます。
- 木材の再塗装には、ニスやペンキ等の塗膜をつくるタイプの塗料は絶対に使用しないでください。ひび割れの原因となります。
- モルタル・鉄粉は木材の変色の原因となりますので、付着した場合は速やかに取除いてください。
- ごみ・汚れ等を長期間放置しますと汚れが落ちにくくなりますので、こまめに清掃してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

**C227**

LKC819910E  
98-11A  
201607F\_1049